

2011年7月28日

L A S-E 判定結果について

L A S-E 判定委員会

委員長 寺西俊一

委員 山本 武

委員 松本裕明

1. 申請自治体

奈良県生駒市

2. 申請類型区分

エコアクション(環境活動)部門	第1ステージ
エコマネジメント(環境経営)部門	第1ステージ
エコガバナンス(環境自治)部門	第1ステージ

3. 合否判定結果

L A S-E 判定委員会において、上記類型区分において規格に準拠しているかどうかを討議した結果、貴自治体の取り組みを次のように判定しました。

エコアクション(環境活動)部門	第1ステージ	: 合格
エコマネジメント(環境経営)部門	第1ステージ	: 合格
エコガバナンス(環境自治)部門	第1ステージ	: 合格

なお、所見につきましては、別紙にて通知いたします。

総合所見

<全体評価>

共通実施項目監査では3部門とも良好な結果となっていることから、合格と判定しました。今回の合格は、環境自治体として成熟していくワンステップとしてよいはずみになると思われます。生駒市がこれまで実践してきた市民協働の取り組みが、市民監査方式を取り入れたL A S - Eによる環境マネジメントシステムを運用するためにも有効に働くことを実証したことは、大きな意義があります。

<良かった点>

L A S - Eは市民と市の職員が監査を通じてコミュニケーションを図りつつ、市民の目線で監査を行う点に特徴がありますが、市民監査員の皆さんが行政内部をつぶさに見て回り、多くの職員と話したのは恐らくあまり無い経験ではないでしょうか。この意義は非常に大きいと思います。環境パートナーシップ組織であるEco-net生駒より多くの市民監査員が参加されたことに敬意を表したいと思います。

初年度にも拘わらず、いくつかの指定管理者の運営する施設を環境マネジメントシステムの運用の対象とし、法令遵守などについての取り組み状況の確認をされたことは評価できます。

また、スターティングの段階として、取り組む事項を細かく記述した計画書や手引き書等のマニュアルの存在が重要ですが、生駒市で作成されたハンドブックは、何を目的に何をすべきかが明確にかつわかりやすく記述されており、全職員が活用可能な内容になっている点も評価したいと思います。

生駒市は環境基本条例、環境基本計画をはじめとする各種計画・制度が整備されており、また環境パートナーシップ組織であるEco-net生駒との協働での事業実施で成果をあげていることから、環境自治体としてのポテンシャルがかなり高いと思われます。すでにL A S - Eの第2ステージ相当の力を持っているのではないのでしょうか。早期に第1ステージを卒業し、第2ステージにチャレンジすることを期待します。

個別所見

- ・独自目標が未達成の項目が多かったのを気象条件のせいにするのではなく、気象条件に左右されないような達成のための方策を検討しなければなりません。次年度は達成のための具体策を積み上げた上で、確実に目標を達成できるように環境マネジメントシステムを運用されることを望みます。
- ・L A S - Eに沿った取り組みを進めていくことは、被監査組織が環境自治体としてのステップアップを図っていくためのラーニング（学習）プロセスといえます。監査を行うことは、職員のステップアップの手助けをするものと捉えて、今後も意欲的かつ柔軟な監査を希望します。